

科目区分	専門教育科目	授業科目名	カリキュラム論			科目コード	23Y212	担当者	本村 弥寿子			担当形態	単独
対象学科・コース	幼児教育学科	配当年次	1年次	開講学期	後期	単位数	2	必修・選択の別	選択	免許・資格要件	幼稚園教諭必修、保育士必修		
授業形態	講義	履修条件									教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分	教育の基礎的理解に関する科目
実務の経験を有する教員担当科目		該当	実務の経験内容及び科目との関連	幼稚園と小学校の勤務経験がある。この勤務経験を基に保育計画の種類や立案方法を教授し、保育指導案作成の授業を行う。						科目に含めることが必要な事項	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラムマネジメントを含む。）		

授業の主題	教育課程・全体的な計画を基にして指導計画を作成し、保育内容や指導援助のあり方について学ぶ。	課題等への対応（フィードバックの方法等）	作成した保育指導案は添削後に返却し、学習が不十分な点について確認を行う。場合によっては、授業時間外に個別の対応を行うこともある。
授業の方法	参考書やプリントを使用した講義に続き、指導計画を作成する演習を行う。	アクティブ・ラーニングの実施方法	保育指導案作成では、教員が与えた課題に対して自ら参考となる資料を用意し学習する。さらに、各自作成した指導案をグループ内で見せ合い、ディスカッションを通して学習内容の理解を深める。

回数	授業計画	事前・事後学修	回数	授業計画	事前・事後学修	
第1回	オリエンテーション、カリキュラムについて	「保育内容総論」レジュメに目を通し、保育の基本や評価についての学びを振り返る。	第9回	保育指導案の作成①・・・課題1（降園時）	附属幼稚園体験学習の記録に目を通しておく。	
第2回	子ども理解に基づく保育の循環	授業後、3法令解説の、授業で触れた内容を読み返し、理解を深めておく。	第10回	保育指導案の作成②・・・課題1（降園時）	指導細案を書いて予習する。	
第3回	幼稚園の教育課程編成の基本原則と方法	授業後、3法令解説の、授業で触れた内容を読み返し、理解を深めておく。	第11回	保育指導案の作成③・・・課題2（活動時）	参考書や文献を使用し活動内容を考えておく。	
第4回	保育所・こども園の全体的な計画作成の基本原則と方法	授業後、3法令解説の、授業で触れた内容を読み返し、理解を深めておく。	第12回	保育指導案の作成④・・・課題2（活動時）	指導細案を書いて予習する。	
第5回	幼稚園の指導計画の作成	授業後、3法令解説の、授業で触れた内容を読み返し、理解を深めておく。	第13回	保育指導案の作成⑤・・・課題3（日案）	参考書や文献を使用し活動内容を考えておく。	
第6回	保育所・認定こども園の指導計画の作成	授業後、3法令解説の、授業で触れた内容を読み返し、理解を深めておく。	第14回	保育指導案の作成⑥・・・課題3（日案）	指導細案を書いて予習する。	
第7回	保育指導案の作成方法①	第5回、第6回の授業内容を復習しておく。	第15回	保育指導案作成における留意事項について（添削結果に基づいて）	課題1から3までを見直し、書き方の再確認をしておく。	
第8回	保育指導案作成方法②（指導案の項目と内容）	第7回の授業内容を復習しておく。			事前・事後学修時間（分／授業1回）	180分／授業1回

教科書 [書名／著者名／出版社]	毎回授業時にレジュメを配布する。	受講生へのメッセージ	子どもの主体性を尊重し、子どもの心身の発達に適したかわりを考えて指導計画を作成しましょう。
参考書 [書名／著者名／出版社]	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領／文部科学省、厚生労働省、内閣府／チャイルド本社		

